# 第1章 調査の概要

## 1. 目的

子育て世代を中心に、本市への転入理由を把握するとともに、本市からの転出理由を調査し、本市 の強みや弱み等を把握することで、今後の施策立案の基礎資料とする。

# 2. 調査方法

(1)調査対象 平成29年1月1日から平成29年12月31日における転入出者のうち、

「25~39歳の男女」かつ「東京都または神奈川県内他市町村から平塚市への 転入者」、「平塚市から東京都または神奈川県内他市町村への転出者」に該当す

る各々1,000人

(2) 抽出方法 住民基本台帳より無作為抽出

(3) 調査方法 郵送配布、郵送回収(料金受取人払いの返信用封筒を添えて郵送)

(4) 調査期間 平成31年1月11日(金)~1月25日(金)

(5) 調査票 本報告書の巻末を参照

# 3. 標本数及び回収結果

#### (1)標本数

#### 【転入者】

発送 1,000件

戻り 10件 (相手方の不明のため)

実質標本数 990件

【転出者】

発送 1,000件

戻り 71件 (相手方の不明のため)

実質標本数 929件

(2) 有効回収数 【転入者】 280件 【転出者】 245件

(3) 有効回収率 【転入者】 28.3% 【転出者】 26.4%

#### 【転入者】

区分	発送	戻り	実質標本数	有効回収数	未回収数	有効回収率
地区	A	В	C = A - B	D	C-D	D/C
計	1,000	10	990	280	710	28.3%

#### 【転出者】

区分	発送	戻り	実質標本数	有効回収数	未回収数	有効回収率
地区	A	В	C = A - B	D	C-D	D/C
計	1,000	71	929	245	684	26. 4%

# 4. 調査項目

## (1) 転入者アンケート

AT HIL	an HH	-e.nn (		
種別	設問No.	設問内容		
	1	性別		
	2	年齢(対象者5歳区分)		
	3	職業等		
属性	4	同居の子どもの人数		
周江	5	子どもの年代		
	6	転入後の平塚市の居住地区		
	7	転入前の住所		
	8	平塚市との関わり		
きっかけ	9	きっかけとなった方		
6 7 M1)	10	転入理由 (きっかけ)		
転入先	11	他市町村の検討状況		
検討状況	12	転入先に重視した条件		
快时扒儿	13	転入先の検討情報源		
シティプロモーショ	14	シティプロモーションの認知状況		
ンに関する状況	15	シティプロモーションは参考になったか		
転入先決	16	平塚市に決めた主な理由		
	17	平塚市に決めた理由		
定理由	18	平塚市に決めた理由(自由記述)		
新年. Cn	19	平塚市に居住しての評価		
評価・印	20	平塚市の良かったところ(自由記述)		
象	21	平塚市の悪かったところ(自由記述)		

## (2) 転出者アンケート

種別	設問No.	設問内容		
		性別		
	2	年齢(対象者5歳区分)		
	3	職業等		
属性	4	同居の子どもの人数		
	5	子どもの年代		
	6	転出前の平塚市での居住地区		
	7	平塚市に居住した年数		
きっかけ	8	きっかけとなった方		
9.211.1)	9	転出理由(きっかけ)		
転出先	10	転出先市町村		
決定理由	11	転出先を決めた理由		
Uターンの	12	将来、平塚市に戻って住みたいか		
	13	どのような状況になれば平塚市に戻って住みたいか		
意向	14	どのような状況になれば平塚市に戻って住みたいか(自由記述)		
	15	平塚市に居住していたときの評価		
評価・印象	16	平塚市の良かったところ(自由記述)		
	17	平塚市の悪かったところ(自由記述)		

# (3) 市内居住地区 ※町丁名の分類は調査票参照



# 5. 結果利用上の注意

- (1) 結果は百分率 (%) で表示し、小数第二位を四捨五入して算出しました。従って、数値の合計 が 100%にならない場合があります。また、端数処理の関係上、個々の選択肢の百分率の合計が 100%にならない場合があります。
- (2) 回答の比率(%)は、その質問の回答者数を基数として算出しました。したがって、複数回答の設問は、全ての比率を合計すると100%を超えることがあります。
- (3) 統計表中の符号の用途は次のとおりです。

「0.0」 ・・・単位未満

「一」 ・・・・皆無又は該当数字なし